

ビービーシステム / ExLook

ソフトバンク通信3社が大規模モバイルシステム構築 機体認証の導入でセキュリティを強化

ソフトバンクグループの通信3社は昨年末にビービーシステムのExLookを利用して、利用可能端末数1万超という大規模なモバイルシステムを稼働させた。このシステムの最大の特徴は、機体認証の採用により、ユーザーの使い勝手を向上し、セキュリティの大幅な強化を実現している点にある。

ソフトバンクグループで通信事業を手がけるソフトバンクモバイル、ソフトバンクテレコム、ソフトバンクBBの3社は、計1万数千台に及ぶ会社支給の携帯電話から社内の電子メールやスケジュールなどの利用を可能にする大規模なモバイルシステムを構築、昨年12月から運用を開始した。

このシステムは、携帯電話のブラウザを使ってマイクロソフトの電子メール、メッセージングサーバー「Microsoft Exchange Server(以下Exchange)」へのアクセスを可能にするゲートウェイソフト「ExLook(ビービーシステム製)」を用いて構築されたもの。

グループ3社が導入しているExchangeのアカウント数は約2万。ExLookでも同数のアカウントが取得されているが、システムに接続できるのは原則として会社が支給するソフトバンクモバイルの携帯電話に限定されている。

「ソフトバンク版」を開発

このシステムは昨年春のソフトバンクモバイルの移転により東京・汐留に集約された通信3社の情報システム統合の一環として整備されたもの。

新システムが稼働する以前は、ソフトバンクBBがExchange2003に標準搭載されたOutlook Mobile Access(OMA)を、ソフトバンクモバイルが海外ベンダーのソリューションを用いて携帯電話からのExchangeへのアクセスを実現していた。

しかし、昨年末にソフトバンクモバ

イルが導入していたソリューションの契約が切れること、OMAでは03年のリリース以降、ほとんど新機種のサポートが行われておらず、運用上問題があることから、それまでモバイルソリューションを導入していなかったソフトバンクテレコムを含む3社で統一の新システムを導入することになったという。

ソフトバンク3社が新システムにExLookを採用した最大の理由は、この製品が国内ベンダー製であり、カスタマイズのニーズに柔軟に対応できると考えられたことにある。

12月の稼働時点では、当時の最新版ExLook Enterprise Server 2003 Database Editionがそのまま用いられたが、翌年1月に稼働したフェーズ2のシステムでは、携帯電話の機体番号による認証システム(機体認証)の採用、さらに表示項目の拡充などの機能拡張が行われた「ソフトバンク版ExLook」ともいえるものが導入され、使い勝手の向上とともにセキュリティの大幅な強化が図られている。

数字入力だけで認証可能に

この「ソフトバンク版ExLook」の最大の特徴といえるのが、機体認証の採用である。

ExLookでは、通常はWindowsへのログオンで使われているIDとパスワードで認証が行われる。これらはセキュリティを確保するために数字と英文字が混在する長い文字列が用いられることが多いが、これを携帯電話の10



ソフトバンクBB(株) セキュリティ本部 セキュリティ技術企画課 浅尾崇宏氏



ソフトバンクBB(株) セキュリティ本部 セキュリティ技術部長 村上博文氏

キーを使って入力するのはユーザーにとって大きな負担となる。

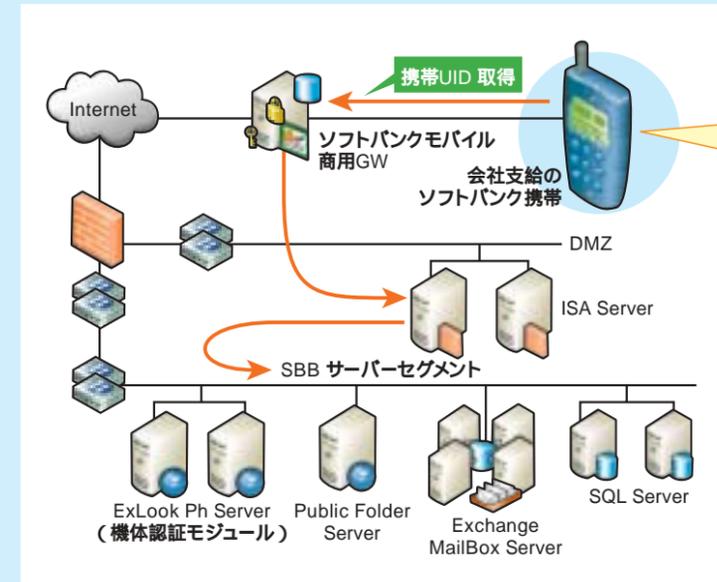
そこで採用されたのが、携帯電話のブラウザから通知される機体番号とユーザーが任意に設定できる8ケタ以上の数字(PINコード)を組み合わせる認証システムである。

数字だけからなるPINコードは覚えやすいだけでなく10キーでの入力が楽であり、認証時のユーザーの負担が大幅に軽減できる。

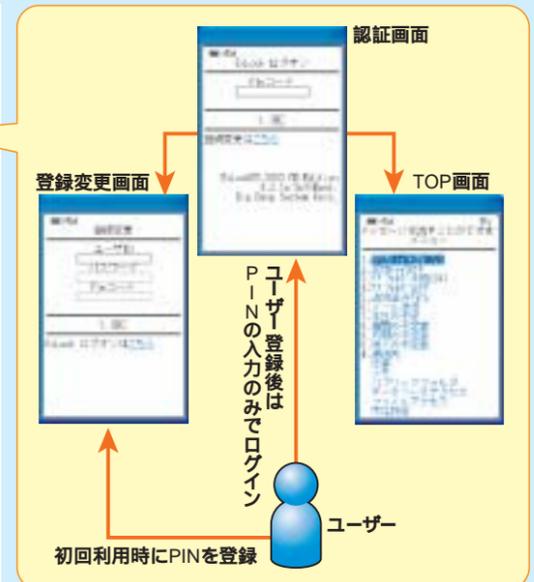
それにも増して重要なのがこれがセキュリティの強化にもつながることだ。

新システムの構築を手がけたソフトバンクBBセキュリティ本部セキュリティ技術部部長の村上博文氏は、機体認証の効用を「パスワードを入力する限り、第三者にこれを見られる可能性が生じます。そこで当社では、生体認証の導入などできるだけパスワードを入力し

モバイルシステム全体構成図



携帯電話画面説明



なくてすむ環境を整備しています。特に携帯電話は外出先で利用するのでパスワードを直接入力するのは好ましくありません。このシステムでは仮にPINコードを見られても、該当の携帯電話がなければ第三者が侵入することはできません。携帯電話を紛失しても機体番号を失効させればよい。セキュリティははるかに強固になります」と説明する。

もともと端末側にメールや電話帳などのデータをもたないExLookは、万一携帯電話を紛失してもデータ漏洩の心配がないことを大きなセールスポイントとしているが、これに機体認証を組み合わせることで、極めて高いセキュリティが実現されるのだ。

拡張機能の外販も

さらに「ソフトバンク版ExLook」で見逃せないのが、機能面で多くのカスタマイズが図られていることである。

その1つが、スケジュール上に会議の表示項目を標準版の会議名と主催

者だけでなく、参加者全員の氏名も表示できるようにしたことだ。ユーザーがオフィスに戻らずに、他の会議に続けて参加するような場合、確認が直ぐにできるため、これは非常に便利だ。

もう一つ大きな変更点としてあげられるのが、標準版ではメールアドレスベースで表示されるアドレス帳をExchangeと同様、名前と部署を日本語で表示できるようにしていることだ。

ソフトバンクBBセキュリティ技術企画課の浅尾崇宏氏はこうした変更を行った理由を「ユーザー数が2万にもなる大規模なシステムでは、電子メールアドレスだけでは相手先の識別が難しいため」と説明する。「新システムでは名前を入力すると部署名を含めた候補が一覧表示されるので、簡単にメールが打てる」というのだ。

実はこの機能は、ソフトバンクBBで用いられていたOMAでサポートされていたものだという。

浅尾氏は「従来できたことができなくなるとユーザーからは不便だという声

が上がる。対応は不可欠だった」と振り返る。

これら以外にもソフトバンクBBでは、多くの改良をExLook開発元のビービーシステムへ要望したが、2点ほどの特殊な項目を除いてその大半が実現されたという。結果として、まさにユーザーのかゆいところに手が届くシステムができあがったのだ。

これらの拡張機能の内、一般的にも要望が強いと思われる機能については、ExLookの標準機能として盛り込まれているという。また前述の機体認証についてもソフトバンク通信3社とビービーシステムが共同で法人向けソリューションとして展開する計画も進められており、両社の事業の次の一手として期待されている。

お問い合わせ先
株式会社ビービーシステム
 営業部
 東日本：03-5777-2801
 西日本：06-6944-1077
 URL：http://www.bbsystem.co.jp/
 E-mail：product-exlook@bbsystem.co.jp